

コスモ石油株式会社中央研究所

(2005年3月31日現在)

| | |
|--------|----------------------|
| 所在地 | 埼玉県幸手市権現堂1134-2 |
| 操業開始年月 | 1969年4月 |
| 面積 | 85,281m ² |
| 社員数 | 101名 |



コスモ石油 中央研究所について

敷地内を埼玉と茨城の県境が縦断するユニークな環境の中、当研究所では石油製品の品質向上、精製用触媒の性能改善など石油本業研究と、新エネルギー・環境技術などの研究開発・事業支援を精力的に行っています。

- 環境への取り組み：規模は小さいながら製油所と同等の設備や危険物を扱っているため、関連の社内教育や分科会活動を通して環境保全に力を注いでいます。また、産業廃棄物についても、具体化した数値をベースに削減に向け、一丸となって努力しています。
- 安全への取り組み：1969年に開設以来、危険物・高圧ガス関連事故ゼロを継続中です。今年度は特に、研究設備・行動に対するリスクアセスメント活動を実施して危険要因に対する対策を構築しています。万一の災害を想定した総合防災訓練を定期的に行い、備えは万全です。
- 地域社会に対する活動：埼玉県推奨の「彩の国エコアップ」宣言事業所として、近隣の皆様からの情報開示請求にお応えできるようにしています。また、桜の名所として知られる権現堂の桜堤の清掃を全社員が心を込めて年2回行い、環境美化に努めています。



中央研究所所長
湯本 貢

法規制物質

| 物質 | 物質 | 規制値 | 2004年度実績 | |
|----|---------------|-----------|----------|--------|
| | | | 最大 | 平均 |
| 水質 | COD (mg/l) | 160 (120) | 16.8 | 10.1 |
| | SS (mg/l) | 60 (50) | 14 | 9 |
| | 油分 (mg/l) | 5 | 1 | 定量下限未満 |
| | 窒素 (mg/l) | 120 (60) | 7 | 6 |
| | リン (mg/l) | 16 (8) | 0.9 | 0.8 |
| | フェノール類 (mg/l) | 1 | 定量下限未満 | |

()内は日間平均値

環境会計

環境保全コスト(百万円)

| 項目 | 2004年度 | |
|------------|--------------|-------|
| | 投資額 | 費用額 |
| 1事業エリア内コスト | 公害防止コスト | 0 |
| | 地球環境保全コスト | 0 |
| | 資源循環コスト | 0 |
| 2上・下流コスト | グリーン購入によるコスト | 0 |
| | 製品の環境負荷低減コスト | 0 |
| 3管理活動コスト | 0 | |
| 4研究開発コスト | 133 | 1,088 |
| 5社会活動コスト | 0 | |
| 合計 | 133 | 1,088 |

再生紙の購入費 1(百万円)

経済効果(百万円)

| 項目 | 2004年度 |
|----------------------|--------|
| 研究開発による効果額(ロイヤリティ収入) | 12 |
| 合計 | 12 |



環境関連資格保有者数

| | |
|-------------------|-----|
| 公害防止管理者(大気) | 4名 |
| 公害防止管理者(水質) | 7名 |
| 公害防止管理者(ダイオキシン) | 1名 |
| 危険物取扱者(甲・乙種) | 80名 |
| 高圧ガス製造保安責任者(甲・乙種) | 40名 |
| 特別管理産業廃棄物管理責任者 | 1名 |
| 産業廃棄物施設技術管理者 | 1名 |
| 環境計量士 | 2名 |
| ボイラー1,2級 | 8名 |